

平成30年度

日本生化学会九州支部例会

プログラム

開催日時： 平成30年6月30（土）・7月1日（日）

開催場所： 九州大学医学部百年講堂

例会長： 伊東 信

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1

九州大学 大学院農学研究院 生命機能科学部門

日本生化学会 九州支部

## 平成30年度日本生化学会九州支部例会

期日： 平成30年6月30日（土）・7月1日（日）

会場： 九州大学医学部百年講堂（福岡市東区馬出3-1-1）

参加費： 一般会員 2,000円・非会員 3,000円

大学院学生 1,000円・学部学生 無料

懇親会費： 一般会員 4,000円・非会員 4,000円

大学院学生 1,000円・学部学生 1,000円

行事：

6月30日（土）

<評議員会>	11:30~12:30	百年講堂二階会議室
<シンポジウム>	13:00~15:50	A会場（大ホール）
<特別講演>	16:00~17:00	A会場（大ホール）
<一般講演（ポスター）>	17:15~18:45	D会場（中ホール3）
<懇親会>	19:00~	B、C会場（中ホール1, 2）

7月1日（日）

<一般講演（口頭）>	9:00~11:15	B、C会場（中ホール1, 2）
	13:15~15:20	B、C会場（中ホール1, 2）
<学術奨励賞受賞講演>	11:30~11:50	B会場（中ホール1）
<ランチョンセミナー>	12:00~13:00	C会場（中ホール2）

## 日 程 表

6月30日(土)	
時間	
11:00-	・受付(ロビー)
11:30-12:30	・評議員会(二階会議室)
13:00-14:20	シンポジウム(A会場)
14:20-14:30	休憩
14:30-15:50	シンポジウム(A会場)
15:50-16:00	休憩
16:00-17:00	特別講演(A会場)
17:00-17:15	休憩、移動
17:15-18:45	ポスター発表(D会場)
18:45-19:00	休憩、移動
19:00-	懇親会(B, C会場)

7月1日(日)		
時間	B会場	C会場
8:30-	開場・受付(ロビー)	
9:00-10:00	口頭発表A(O01-O05) 座長:石野園子(九大院農)・ 尾崎省吾(九大院薬)	口頭発表B(O06-O10) 座長:平順一(九工大情報工)・ 友原啓介(九大基幹)
10:00-10:15	休憩	
10:15-11:15	口頭発表C(O11-O15) 座長:岸本直樹(熊大院薬)・ 城谷圭朗(長大院医歯薬)	口頭発表D(O16-O20) 座長:大箆友博(九大院医)・ 新地浩之(鹿大院理工)
11:15-11:30	休憩、移動	
11:30-11:50	奨励賞受賞講演	
11:50-12:00	休憩、移動	
12:00-13:00		ランチオンセミナー
13:00-13:15	休憩、移動	
13:15-14:03	口頭発表E(O21-O24) 座長:稲住知明(熊大院薬)・ 光武進(佐大農)	口頭発表F(O25-O28) 座長:黒木勝久(宮大院農)・ 坂口達也(久留米大医)
14:03-14:20	休憩	
14:20-15:20	口頭発表G(O29-O32) 座長:石橋洋平(九大院農)・ 柴田俊生(九大院理)	口頭発表H(O33-O37) 座長:阿部雄一(九大生医研)・ 伴匡人(久留米大分生研)

# ご案内

## <受付>

参加登録、講演要旨集の配布は、参加受付（医学部百年講堂ロビー）で行ないます。

## <シンポジウム・特別講演・受賞講演の講演者の方へ>

- ・講演は液晶プロジェクターを用いて行ないます。講演者ご自身のパソコンを会場に設置された液晶プロジェクターに接続して映写して頂きます。操作はご自身でお願い致します。
- ・講演者はパソコンと発表ファイルの動作確認を前もってお願い致します。試写は、講演開始前、休憩時間に会場の液晶プロジェクターに接続してご確認下さい。

## <一般講演の講演者の方へ>

- ・発表時間は討論、交代を含めて12分（発表9分、討論2分30秒、交代時間30秒）です。
- ・発表は、液晶プロジェクターを用いて行ないます。講演者ご自身のパソコンを会場に設置された液晶プロジェクターに接続して映写して頂きます。操作はご自身でお願い致します。
- ・講演者はパソコンと発表ファイルの動作確認を前もってお願い致します。試写は、講演開始前、休憩時間に各会場の液晶プロジェクターに接続してご確認下さい。
- ・講演者は「会場前受付」に各自のセッション開始30分前までにお越し頂き、受付をお済ませ下さい。
- ・前演者の講演が始まりましたら、次演者席での待機をお願い致します。
- ・ご持参のパソコンのトラブルなどが発生した場合に備えて、ご発表用のファイルをコピーしたUSBフラッシュメモリーなどをご持参下さい。また、ご持参されるUSBフラッシュメモリーなどは事前に必ずウイルスチェックを行って下さい。
- ・トラブルに備えて事務局でもパソコンの準備をします。OSはWindows7でPowerPoint2016を用意致します。
- ・発表の都合上どうしてもご自身のパソコンをご使用できない方は、前日までに事務局へご連絡下さい。個別に対応致します。

## <座長の方へ>

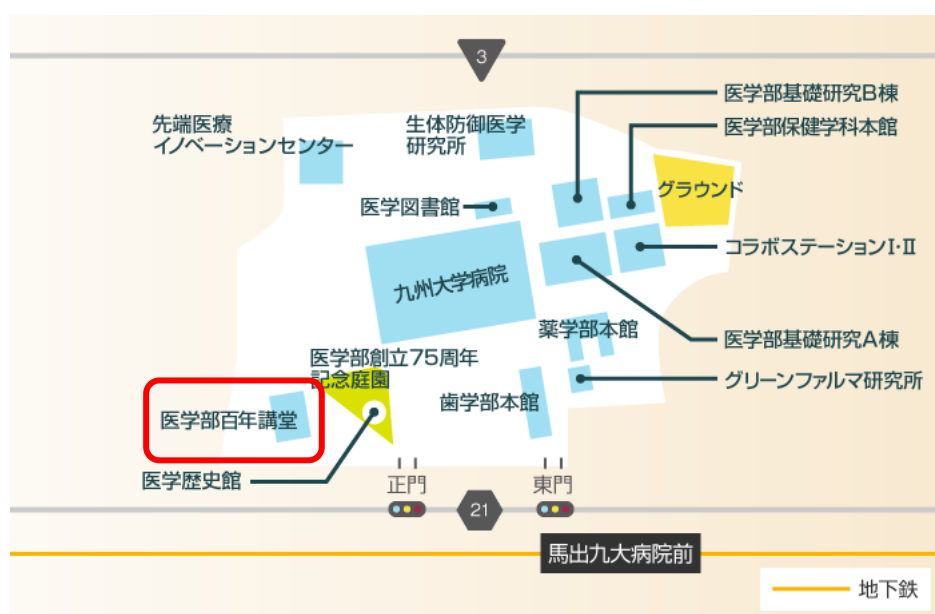
各セッションの15分前までに会場にお越しく下さい。講演時間の厳守とともに、討論が活発になりますよう司会進行をお願いいたします。

### <ポスター発表の方へ>

- ・ 展示場所：D会場（百年講堂中ホール3）
- ・ 展示期間：6月30日（土）12：30 から 18：45
- ・ 説明・討論：6月30日（土）奇数 17：15 から 18：00、偶数 18：00 から 18：45
- ・ 撤去：6月30日（土）18：45 から 19：00
- ・ ポスターサイズ：一人あたりのパネルのサイズは横 90 cm x 縦 180 cm です。このサイズ内でポスターの作成をお願い致します（推奨サイズはA0, 841 mm x 1189 mm）。

ポスターパネルの左上に演題番号が貼り付けてありますので、ご自身の演題番号のパネルに展示して下さい。ポスター上部に演題名、発表者名（講演者名の左肩に○印）、所属を記入して下さい。文字などは 1.5 m 程度離れた位置からでも読める大きさにして下さい。ポスター賞希望の演題には、リボンを演題番号横に貼り付けておりますので、ご確認下さい。

### <九州大学馬出キャンパス周辺の略図>



## <百年講堂の案内図>



## <クローク>

6月30日(土) 11:00~21:00 および7月1日(日) 8:30~15:30 に、クロークで荷物をお預かりいたします。ただし、貴重品やこわれものについてはお預かりいたしかねます。また、6月30日の夜には、一旦荷物をお引き取り願います。

## <懇親会会場>

懇親会会場は百年講堂中ホール1, 2 (B, C会場) です。  
6月30日のポスター発表が終了し次第、会場へ移動してください。

# シンポジウム

「モデル生物を活用した生命科学：光生物学から糖鎖・脂質生物学まで」

6月30日（土） 13：00～15：50

A会場（大ホール）

世話人：

伊東 信（九州大学大学院農学研究院）

座長：伊東 信（九州大学大学院農学研究院）

**13:00 S1**

シロイヌナズナを用いた真核生物における新規遺伝子発現制御機構の解明

松下 智直（九州大学大学院農学研究院）

**13:40 S2**

ショウジョウバエを用いたオルガネラゾーン研究

後藤 聡（立教大学理学部）

**14:20～14:30 休憩**

座長：杉本 幸彦（熊本大学大学院生命科学研究部）

**14:30 S3**

線虫 *C. elegans* によるヒト糖鎖関連疾患モデルの構築

野村 一也（九州大学大学院農学研究院・久留米大学医学部）

**15:10 S4**

ゼブラフィッシュを用いるリゾリン脂質の血管形成制御機構の解析

青木 淳賢（東北大学大学院薬学研究科）

## 特別講演

6月30日（土） 16：00～17：00

A会場（大ホール）

座長：

住本 英樹（九州大学大学院医学研究院）

**SL1 エピジェネティクスと細胞記憶と疾患**

佐々木 裕之（九州大学生体防御医学研究所）



# 平成30年度日本生化学会九州支部学術奨励賞

## 授賞式・受賞講演

7月1日（日） 11:30～11:50

B会場（中ホール1）

座長：

久下 理（九州大学大学院理学研究院）

**AW1**

**ミトコンドリア形成過程におけるタンパク質とリン脂質輸送機構の解明**

宮田 暖（九州大学大学院理学研究院）

## ランチオンセミナー

7月1日（日） 12:00～13:00

C会場（中ホール2）

座長：沖野 望（九州大学大学院農学研究院）

### L01

はじめてのゲノム編集～基礎と実施例、そしておススメ製品のご紹介～

栗田 豊久（タカラバイオ株式会社）

# 一般講演（口頭発表）プログラム

7月1日（日）9：00～15：08

B会場（中ホール1）

口頭発表 A 座長：石野園子（九大院農）・尾崎省吾（九大院薬）

- 9:00 O01 The role for the bacterial second-messenger during the bacterial chromosome replication  
○Shogo Ozaki<sup>1, 2</sup>, Christian Lori<sup>2</sup>, Urs Jenal<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九大院、薬、分子生物、<sup>2</sup>バーゼル大、バイオセンター)
- 9:12 O02 複製起点二重鎖 DNA の認識過程における一本鎖 DNA の役割  
○川上広宣<sup>1</sup>、千々布壮陽<sup>1</sup>、金本祥太<sup>1</sup>、栗原拓也<sup>1</sup>、大橋英治<sup>2</sup>、  
釣本敏樹<sup>2</sup>、片山 勉<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九大院・薬・分子生物、<sup>2</sup>九大・理・生物)
- 9:24 O03 超好熱性アーキア *Thermococcus kodakarensis* のレプリソーム形成機構解析  
○沖 啓輔、永田麻梨子、高島夏希、山上 健、石野園子、石野良純  
(九州大・院農・生化)
- 9:36 O04 Replication protein A in *Thermococcus kodakarensis* functionally interacts with DNA polymerases  
○永田麻梨子、石野園子、山上 健、石野良純  
(九州大・院農・生化)
- 9:48 O05 DNA ミスマッチ特異的切断酵素 EndoMS/NucS はクランプ分子と協調してゲノムの安定性維持に働く  
○石野園子<sup>1</sup>、Stephane Skouloubris<sup>2,3</sup>、工藤華枝<sup>1</sup>、Caroline l'Hermitte-Stead<sup>3</sup>、Asmae Essadik<sup>3</sup>、Jean-Christophe Lambry<sup>3</sup>、石野良純<sup>1</sup>、Hannu Myllykallio<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>九州大・院農・生化、<sup>2</sup>Univ. Paris-Sud、<sup>3</sup>CNRS-INSERM-Ecole Polytechnique)

口頭発表 C 座長：岸本直樹（熊大院薬）・城谷圭朗（長大院医歯薬）

- 10:15 O11 **G<sub>q/11</sub> と共役する GPCR 刺激による Pyk2 の活性化反応**  
○澳津志帆、仲嶺三代美、鳥原英嗣、山本秀幸  
(琉球大院・医・生化)
- 10:27 O12 **アルツハイマー病危険因子 TREM2 のリガンドおよびシグナル伝達機構の解析**  
○城谷圭朗<sup>1</sup>、斉藤 隆<sup>2</sup>、長田重一<sup>3</sup>、Marco Colonna<sup>4</sup>、岩田修永<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>長崎大・院医歯薬・ゲノム創薬学、<sup>2</sup>理研・免疫シグナル、<sup>3</sup>大阪大学・免疫学フロンティア研究センター、<sup>4</sup>ワシントン大学)
- 10:39 O13 **Myosin1E の細胞質アンカータンパク質 SH3P2 は破骨細胞の分化を制御する**  
○中邨翔太<sup>1</sup>、増山律子<sup>2</sup>、酒井康介<sup>1</sup>、福田香凜<sup>1</sup>、堤健<sup>1</sup>、武田弘資<sup>1</sup>、谷村進<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>長崎大・院医歯薬・細胞制御、<sup>2</sup>長崎大・院医歯薬・分子硬組織生物)
- 10:51 O14 **MEK/ERK signaling cascade が制御する HIV 脱殻機構**  
○三隅将吾<sup>1</sup>、堂地赳生<sup>1</sup>、高宗暢暁<sup>2</sup>、岸本直樹<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>熊本大・院薬・環境分子保健学、<sup>2</sup>熊大・KIDO)
- 11:03 O15 **HIV-1 粒子内に取込まれるピルビン酸キナーゼ M2 アイソフォームのウイルス学的役割**  
○岸本直樹<sup>1</sup>、Kumkum Rahman Mouree<sup>1</sup>、山本謙吾<sup>1</sup>、高宗暢暁<sup>2</sup>、三隅将吾<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>熊本大・院薬・環境分子保健学、<sup>2</sup>熊大・KIDO)

口頭発表 E 座長：稲住知明（熊大院薬）・光武 進（佐大農）

- 13:15 O21 **ガレクチンによるアミノ酸輸送体タンパク質の機能制御メカニズム**  
○前田賢人<sup>1</sup>、田崎雅義<sup>2,3</sup>、安東由喜雄<sup>3</sup>、大坪和明<sup>1,4</sup>  
(<sup>1</sup>熊本大・院保健学教育・生体情報解析、<sup>2</sup>熊本大・院生命科学・構造機能解析、<sup>3</sup>熊本大・院生命科学・神経内科、<sup>4</sup>熊本大・院生命科学・生体情報解析)
- 13:27 O22 **赤痢アメーバ由来レクチン IgI の組換え体の発現とその特性**  
○杉野 光<sup>1</sup>、加藤健太郎<sup>2</sup>、橘 裕司<sup>3</sup>、郷田秀一郎<sup>1</sup>、海野英昭<sup>1</sup>、畠山智充<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>長崎大院・工、<sup>2</sup>長崎大・熱研、<sup>3</sup>東海大・医)
- 13:39 O23 **組換え型 Ca<sup>2+</sup>-非依存性 C 型レクチン SPL の二量体形成機構と糖結合特異性**  
○樋口周平、郷田秀一郎、海野英昭、畠山智充  
(長崎大院・工)
- 13:51 O24 **Prostaglandin I<sub>2</sub> は IP 受容体-cAMP 経路を介してマスト細胞の炎症性応答を抑制する**  
○中尾優子<sup>1</sup>、村上里穂<sup>1</sup>、宮本卓馬<sup>1</sup>、鈴木佑治<sup>1</sup>、渡辺真由帆<sup>1</sup>、森本和志<sup>1</sup>、稲住知明<sup>1,2</sup>、土屋創健<sup>1,2</sup>、成宮 周<sup>3</sup>、杉本幸彦<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>熊本大院薬・薬学生化学、<sup>2</sup>AMED-CREST、<sup>3</sup>京都大院医・MIC)

口頭発表 G 座長：石橋洋平（九大院農）・柴田俊生（九大院理）

- 14:20 O29 ショウジョウバエ囲食膜タンパク質の機能解析  
○柴田俊生<sup>1,2</sup>、槇光輝<sup>2</sup>、深江由望<sup>2</sup>、川畑俊一郎<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>九大院・理・生物、<sup>2</sup>九大院・システム生命)
- 14:32 O30 ショウジョウバエトランスグルタミナーゼ-A (TG-A) のエクソソームを介した分泌分子機構の解明  
○川崎大地<sup>1</sup>、董暁晴<sup>1</sup>、宮崎勝俊<sup>1</sup>、柴田俊生<sup>2</sup>、川畑俊一郎<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九州大・院システム生命科学、<sup>2</sup>九州大・理学研究院)
- 14:44 O31 上皮創傷治癒過程における Ca イオン伝播機構の解析  
○平野智裕<sup>1</sup>、池ノ内順一<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九州大学・システム生命科学府、<sup>2</sup>九州大学・理学研究院)
- 14:56 O32 特殊な位置特異性を示す新規リパーゼ/ホスホリパーゼの発見  
○石橋洋平<sup>1</sup>、青木敬祐<sup>2</sup>、林 雅弘<sup>3</sup>、沖野 望<sup>1</sup>、伊東 信<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九大・院農・生命機能、<sup>2</sup>九大・院生資環・生命機能、<sup>3</sup>宮大・農・海洋生物)

7月1日(日) 9:00~15:20

C会場(中ホール2)

口頭発表B 座長:平 順一(九工大情報工)・友原啓介(九大基幹)

- 9:00 O06 バンド3と骨格タンパク質との相互作用に関するアニオン輸送阻害剤の効果  
今村直樹、於保真由美、○山口武夫  
(福岡大・理・化学)
- 9:12 O07 DMSO添加条件下における酵素阻害剤の活性部位特異性評価  
○友原啓介<sup>1</sup>、足立伊佐雄<sup>2</sup>、袈裟丸仁志<sup>3</sup>、野瀬 健<sup>1,3</sup>  
(<sup>1</sup>九大・基幹、<sup>2</sup>富山大・病院薬、<sup>3</sup>九大・院理)
- 9:24 O08 アンタゴニスト活性の発現要因解明を目指した新世代ビスフェノールとエストロゲン受容体 $\beta$ 型の結合能評価  
○枘屋宇洋、劉 暁輝、松島綾美  
(九州大・院理・化学)
- 9:36 O09 構造変化を伴うNADPH-シトクロムP450還元酵素とヘムオキシゲナーゼ-1の複合体形成の沈降平衡法による解析  
○平 順一<sup>1</sup>、相良達哉<sup>1</sup>、杉島正一<sup>2</sup>、坂本 寛<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九工大・情報工・生命、<sup>2</sup>久留米大・医・医化学)
- 9:48 O10 NADP添加によるNADPH-シトクロムP450還元酵素とヘムオキシゲナーゼ間の相互作用増大の構造的要因  
○杉島正一<sup>1</sup>、佐藤秀明<sup>1</sup>、和田 啓<sup>2</sup>、平 順一<sup>3</sup>、坂本 寛<sup>3</sup>、山本 健<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>久留米大・医・医化、<sup>2</sup>宮崎大・医・蛋白質機能、<sup>3</sup>九工大・情報工・生命)

口頭発表 D 座長：大籠友博（九大院医）・新地浩之（鹿大院理工）

- 10:15 O16 側頭葉てんかんモデルマウスで見られるケラタン硫酸陽性ミクログリアの機能  
○大籠友博<sup>1</sup>、神野尚三<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九州大・院医・神経解剖学)
- 10:27 O17 スイゼンジノリ由来硫酸化多糖サクランは血液凝固第Ⅷ因子活性を阻害する  
○喜多川恵梨子、田尻裕也、宮原浩二、武谷浩之  
(崇城大学・生物生命・応用生命)
- 10:39 O18 ラディカル分解によるスサビノリ由来硫酸化多糖体ポルフィランの低分子化と抗炎症作用増強  
柳戸彩奈、上野幹憲、山口健一、○小田達也  
(長崎大院水・環)
- 10:51 O19 糖鎖ナノバイオテクノロジーと高速 PCR 測定機を用いた鳥インフルエンザウイルスのオンサイト検査  
○隅田泰生<sup>1,2</sup>、有馬えり子<sup>1,2</sup>、小澤 真<sup>3</sup>、松鶴 彩<sup>3</sup>、永井秀典<sup>4</sup>、古市丈治<sup>5</sup>、所崎香織<sup>6</sup>  
(<sup>1</sup>鹿児島大・院理工、<sup>2</sup>(株)スティックスバイオテック、<sup>3</sup>鹿児島大・共同獣医、<sup>4</sup>産総研関西センター、<sup>5</sup>(株)ジェイタス (※2017年7月杏林製薬(株)にM&A)、<sup>6</sup>鹿児島県ツル保護会)
- 11:03 O20 *Aspergillus nidulans* に存在する  $\beta$ -D-ガラクトフラノシダーゼの解析  
○松永恵美子<sup>1</sup>、豊田早紀<sup>1</sup>、岡 拓二<sup>2</sup>、樋口裕次郎<sup>1</sup>、竹川 薫<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九大・院・農、<sup>2</sup>崇城大・生物生命)



口頭発表 F 座長：黒木勝久（宮大院農）・坂口達也（久留米大医）

- 13:15 O25 シクロペンテノンプロスタグランジン代謝体の受容体を介する作用解析  
○児玉直輝、黒木勝久、Ming-Cheh Liu\*、水光正仁、榊原陽一  
（宮崎大院・農・応生科、\*トレド大・薬）
- 13:27 O26 コモンマーモセット硫酸転移酵素 SULT1C サブファミリーに関する研究  
○眞鍋曜子、黒木勝久、Ming-Cheh Liu\*、水光正仁、榊原陽一  
（宮崎大院・農・応生科、\*トレド大・薬）
- 13:39 O27 ハブ毒ホスホリパーゼ A<sub>2</sub> (PLA<sub>2</sub>) アイソザイムの地域特異性  
—沖縄島の北部と南部の比較—  
○宮崎真里奈<sup>1</sup>、塩井成留実<sup>2</sup>、寺田考紀<sup>3</sup>、木下泰郁<sup>1</sup>、原本京八、  
千々岩崇仁<sup>1</sup>  
（<sup>1</sup>崇城大学・工・応用生命、<sup>2</sup>福岡大学・理学・化学、<sup>3</sup>沖縄県衛生環境  
研究所）
- 13:51 O28 マイクロアレイのメタ解析による遺伝子の持つ機能範囲の推定  
○坂口達也、東元祐一郎  
（久留米大学・医・化学）

口頭発表 H 座長：阿部雄一（九大生医研）・伴 匡人（久留米大分生研）

- 14:20 O33 *Pex14* 欠損マウスにおける小脳形態異常の分子機構  
○阿部雄一<sup>1</sup>、本庄雅則<sup>1</sup>、藤木幸夫<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九大・生医研・オルガネラホメオスタシス)
- 14:32 O34 テイルアンカー型タンパク質 ACBD5 の翻訳速度とペルオキシソームへの輸送・局在化効率の関連性の検討  
○小山桂恵奈<sup>1</sup>、奥本寛治<sup>1,2</sup>、田村茂彦<sup>1,3</sup>、藤木幸夫<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>九大院・システム生命、<sup>2</sup>九大・理・生物科学、<sup>3</sup>九大・基幹教育院、<sup>4</sup>九大・生医研)
- 14:44 O35 ホスファチジルセリンの小胞体からミトコンドリア内膜への輸送に関与する新規因子の探索  
○藤井 悟<sup>1</sup>、宮田 暖<sup>1</sup>、久下 理<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九大・院理・化学)
- 14:56 O36 膜融合 GTPase OPA1 によるミトコンドリア膜融合機構の解明  
○伴 匡人<sup>1</sup>、石原直忠<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>久留米大学・分生研、<sup>2</sup>大阪大学・理・生物科学)
- 15:08 O37 *Cryptococcus neoformans* の糖脂質代謝は病原性に強く関わる  
○渡辺 昂、藤田実花、石橋洋平、沖野 望、伊東 信  
(九大・院農・生命機能)

# 一般講演（ポスター発表）プログラム

6月30日（土） 17：15～18：45

D会場（中ホール3）

- P01 大腸菌 DNA 複製再開始タンパク質 DnaT-PriB 間の相互作用の NMR 解析および in vivo 解析  
○阿部義人<sup>1</sup>、池田陽平<sup>1</sup>、藤山紗希<sup>1</sup>、Kini R Manjunatha<sup>2</sup>、植田 正<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九大・院薬・蛋白質創薬、<sup>2</sup>シンガポール大・理)
- P02 特殊な位置特異性を示す新規リパーゼ/ホスホリパーゼの発見  
○石橋洋平<sup>1</sup>、青木敬祐<sup>2</sup>、林 雅弘<sup>3</sup>、沖野 望<sup>1</sup>、伊東 信<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九大・院農・生命機能、<sup>2</sup>九大・院生資環・生命機能、<sup>3</sup>宮大・農・海洋生物)
- P03 硫酸化糖鎖結合性一本鎖抗体の探索  
○石丸慎太郎<sup>1</sup>、新地浩之<sup>1</sup>、若尾雅広<sup>1</sup>、伊東祐二<sup>1</sup>、隅田泰生<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>鹿児島大・院理工、<sup>2</sup>スティックスバイオテック)
- P04 肺胞上皮細胞でのブラジキニンによる EGFR のリン酸化反応  
○和泉俊輔<sup>1,2</sup>、仲嶺三代美<sup>1</sup>、上原綾子<sup>2</sup>、須加原一博<sup>2</sup>、垣花 学<sup>2</sup>、山本秀幸<sup>1</sup>  
(琉球大院・医・<sup>1</sup>生化、<sup>2</sup>麻酔)
- P05 ヘム分解関連酵素間の特異的相互作用を基盤とする分子内 FRET ヘムプローブの開発  
松田和也<sup>1</sup>、○井之上実希<sup>1</sup>、平 順一<sup>1</sup>、小松英幸<sup>1</sup>、杉島正一<sup>2</sup>、坂本 寛<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九工大・情報工・生命、<sup>2</sup>久留米大・医・医化)
- P06 病原性真菌類の分泌小胞に含まれる免疫賦活化糖脂質の探索と免疫活性化機構の解明  
○岩崎未央<sup>1</sup>、渡辺 昂<sup>1</sup>、石橋洋平<sup>1</sup>、沖野 望<sup>1</sup>、山崎 晶<sup>2</sup>、伊東 信<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九大・院農・生資環、<sup>2</sup>阪大・微研・分子免疫)
- P07 大腸菌エキソヌクレアーゼⅢと類似性を持つ新規ヒト修復タンパク質 EEPD1 の機能解析  
○上田翔大、塩井成留実、倉岡 功  
(福岡大学・理・化)

- P08 **新奇アシルスチリルグルコシドの構造決定と合成酵素の探索**  
○植村 涼<sup>1</sup>、渡辺 昂<sup>2</sup>、谷 元洋<sup>3</sup>、石橋 洋平<sup>2</sup>、沖野 望<sup>2</sup>、伊東 信<sup>2,4</sup>  
(<sup>1</sup>九大・院生資環・生命機能、<sup>2</sup>九大・院農・生命機能、<sup>3</sup>九大・院理・化学、<sup>4</sup>九大・院農・i-BAC)
- P09 **ラビリントチュラ類におけるグリセロリン脂質合成機構の解明**  
○江湖龍太郎<sup>1</sup>、奴田原枝利<sup>2</sup>、谷 元洋<sup>3</sup>、石橋洋平<sup>4</sup>、沖野 望<sup>4</sup>、伊東 信<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>九大・院生資環・生命機能、<sup>2</sup>九大・院生資環・生物産業創成、<sup>3</sup>九大・院理・化、<sup>4</sup>九大・院農・生命機能)
- P10 **子宮頸がん細胞表層糖鎖に結合する一本鎖抗体の探索**  
○円城寺佑貴<sup>1</sup>、澤山颯<sup>1</sup>、新地浩之<sup>1</sup>、若尾雅広<sup>1</sup>、伊東祐二<sup>1</sup>、隅田泰生<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>鹿大・院理工、<sup>2</sup>SUDx-Biotec)
- P11 **イペリアトゲイモリ免疫グロブリン重鎖遺伝子の解析**  
○大塩広人<sup>1</sup>、吉永圭介<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>熊本高専専攻科・生産システム、<sup>2</sup>熊本高専・生物化学システム)
- P12 **ヒトシアリドーシスモデルとしての *neu1* 欠損ゼブラフィッシュ**  
○岡田圭司、高瀬諒、前田悠太郎、小松正治、塩崎一弘  
(鹿児島大学水産学部食品生命科学分野)
- P13 **コブラ科毒液中の成分分析とその阻害因子の探索**  
○小倉彩香、堤 陸、倉岡 功、塩井成留実  
(福岡大・理)
- P14 **アピカル膜へのスフィンゴミエリン輸送を制御する分子機構の解明**  
○小野由美子<sup>1</sup>、池ノ内順一<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九大院・システム生命科学、<sup>2</sup>九大院・理・生物)
- P15 **フォルミン蛋白質 Fhod3 と心筋ミオシン結合蛋白質 C との結合様式とその意義**  
○鹿毛陽子<sup>1</sup>、松山 翔<sup>1,2</sup>、住本英樹<sup>2</sup>、武谷 立<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>宮崎大学・医・薬理、<sup>2</sup>九州大学・院医・生化)
- P16 **経皮蛍光測定装置で検出される生体蛍光性物質の単離**  
○勝田奈那<sup>1</sup>、佐藤ひかり<sup>1</sup>、白河潤一<sup>2</sup>、山中幹宏<sup>3</sup>、中島衡<sup>4</sup>、伊藤健二<sup>4</sup>、永井竜児<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>東海大院・農・農学、<sup>2</sup>東海大・農・バイオサイエンス、<sup>3</sup>シャープライフサイエンス (株)、<sup>4</sup>福岡大・医・腎臓膠原病内科)

- P17 ショウジョウバエトランスグルタミナーゼ-A (TG-A) のエクソソームを介した分泌分子機構の解明  
○川崎大地<sup>1</sup>、董暁晴<sup>1</sup>、宮崎勝俊<sup>1</sup>、柴田俊生<sup>2</sup>、川畑俊一郎<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九州大・院システム生命科学、<sup>2</sup>九州大・理学研究院)
- P18 ラビリントチュラ類の PUFA 代謝物生成に関わる LOX 遺伝子の機能解明  
○木内 遼<sup>1</sup>、沖野 望<sup>2</sup>、石橋洋平<sup>2</sup>、有田 誠<sup>3</sup>、伊東 信<sup>1,4</sup>  
(<sup>1</sup>九大・院生資環・生命機能、<sup>2</sup>九大・院農・生命機能、<sup>3</sup>理研・IMS、<sup>4</sup>九大・院農・i-BAC)
- P19 ビスフェノール A へのハロゲン原子の導入が引き起こすエストロゲン関連受容体 $\gamma$ 型への結合性および生物活性への影響の評価  
○袈裟丸仁志<sup>1</sup>、金子周平<sup>1</sup>、大久保貴史<sup>1</sup>、笠谷和見<sup>1</sup>、劉 暁輝<sup>1</sup>、  
巢山慶太郎<sup>2</sup>、松島綾美<sup>1</sup>、野瀬 健<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>九州大・院理・化学、<sup>2</sup>九州大・基幹教育院)
- P20 ヘビ毒核酸分解酵素の精製と基質特異性  
○財津佳史、倉岡 功、塩井成留実  
(福岡大・理・化)
- P21 アルコール代謝由来の修飾タンパク質検出法の開発  
○砂掛詩織<sup>1</sup>、赤星天翔<sup>2</sup>、永井竜児<sup>1,2</sup>  
(<sup>1</sup>東海大・院農・生化、<sup>2</sup>東海大学・農・バイオ)
- P22 マウス胎仔脳における核内受容体 ERR $\gamma$  の ChIP-seq 解析  
杉山真季子<sup>1</sup>、岡田浩幸<sup>1</sup>、松島綾美<sup>1</sup>、劉 暁輝<sup>1</sup>、○下東康幸<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九州大院理・化学、<sup>2</sup>九州大・リスクサイエンス)
- P23 ステレオタイプリウマトイド因子 YES8c の分子認識と疾患増悪因子としての可能性  
○白石充典<sup>1,2</sup>、伊藤裕史<sup>2</sup>、李 在萬<sup>3</sup>、日下部宜宏<sup>3</sup>、植田 正<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>東理大・基礎工・生工、<sup>2</sup>九大・院薬・蛋白質創薬学、<sup>3</sup>九大・院農・昆虫ゲノム科学)
- P24 クレンアーキオタにおけるレプリソーム構成タンパク質の探索  
○瀬戸口勇登、沖 啓輔、山上 健、石野園子、石野良純  
(九州大・院農・生化)
- P25 ネプリライシンの細胞内ドメインのリン酸化による活性および局在変化の解析  
○世良田 星<sup>1</sup>、高島志風<sup>2</sup>、渡辺かおり、地内友香、城谷圭朗、岩田修永  
(<sup>1</sup>長崎大学・薬・ゲノム創薬学、<sup>2</sup>長崎大・院医歯薬・ゲノム創薬学)

- P26 病原性真菌 *Aspergillus fumigatus* のエルゴステリルグルコシド分解酵素欠損株は分生子数が減少する  
○溝口正輝<sup>1</sup>、渡辺 昂<sup>2</sup>、石橋洋平<sup>2</sup>、沖野 望<sup>2</sup>、伊東 信<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九大・院生資環・生命機能、<sup>2</sup>九大・院農・生命機能)
- P27 HIF 分解を制御する PHD タンパク質をアロステリックに阻害する新規化合物の探索  
○園田健登<sup>1</sup>、廣津留倅一<sup>1</sup>、北川尚穂<sup>1</sup>、川口真一<sup>2</sup>、辻田忠志<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>佐賀大・農・生化、<sup>2</sup>佐賀大・農・天然資源)
- P28 ヘムオキシゲナーゼ-2 に対するカベオリン-1 由来ペプチドのヘミン競合的な結合と酵素活性阻害  
平 順一<sup>1,2</sup>、○武本美沙希<sup>1</sup>、上岡歩美<sup>1</sup>、東元祐一郎<sup>2</sup>、坂本 寛<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九工大・情報工・生命、<sup>2</sup>久留米大・医・化学)
- P29 蛍光性ナノ粒子を利用した光線力学療法による成人 T 細胞白血病の新規治療法の開発研究  
○時崎照吾、立尾清吾、新地浩之、若尾雅広、隅田泰生  
(鹿児島大・院理工)
- P30 長鎖脂肪酸受容体 GPR120 の新規リガンド phytosphingosine  
○長澤智隆<sup>1</sup>、中道ひかる<sup>1</sup>、東山繁樹<sup>2</sup>、濱 洋一郎<sup>3</sup>、光武 進<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>佐賀大・院農・生物資源、<sup>2</sup>愛媛大・プロテオサイエンス、<sup>3</sup>佐賀大・農・生命機能)
- P31 ATL において p47 発現低下による NF- $\kappa$ B 経路の活性化は CADM1/TSLC1 の高発現を誘導する  
○中畑新吾<sup>1</sup>、Bidhan Sarkar<sup>1</sup>、西片一郎<sup>1</sup>、市川朝永<sup>1</sup>、藤井雅寛<sup>2</sup>、井上純一郎<sup>3</sup>、伊波英克<sup>4</sup>、下田和哉<sup>5</sup>、森下和広<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>宮崎大・医・腫瘍生化、<sup>2</sup>新潟大・医・ウイルス学、<sup>3</sup>東大・医科研・分子発癌、<sup>4</sup>大分大・医・微生物学、<sup>5</sup>宮崎大・医・第2内科)
- P32 酢酸菌外膜小胞回収の効率化の検討  
○中村佳祐、松元太一、橋口周平、橋本雅仁  
(鹿児島大・院理工)
- P33 ラビリンチュラ類のステロール合成経路に関する研究  
○西田裕貴<sup>1</sup>、石橋洋平<sup>2</sup>、渡辺 昂<sup>2</sup>、沖野 望<sup>2</sup>、林 雅弘<sup>3</sup>、伊東 信<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九大・院生資環・生命機能、<sup>2</sup>九大・院農・生命機能、<sup>3</sup>宮崎大・農)

- P34 **DHA を生合成する海水魚と生合成できない海水魚**  
 ○丹生谷颯人<sup>1</sup>、野田 樹<sup>1</sup>、河本 洋<sup>1</sup>、石橋洋平<sup>2</sup>、沖野 望<sup>2</sup>、伊東 信<sup>2,3</sup>  
 ( <sup>1</sup>九大院生資環・生命機能、<sup>2</sup>九大院農・生命機能、<sup>3</sup>九大院農・i-BAC)
- P35 **海洋微生物ラビリンチュラが合成する新奇複合スフィンゴ脂質**  
 ○長谷川菜摘<sup>1</sup>、石橋洋平<sup>2</sup>、宮本智文<sup>3</sup>、林 雅弘<sup>4</sup>、沖野 望<sup>2</sup>、伊東 信<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>九大院生資環・生命機能、<sup>2</sup>九大院農・生命機能、<sup>3</sup>九大院薬・臨床薬学、  
<sup>4</sup>宮崎大・農学部)
- P36 **てんかん及びジスキネジア関連因子 PRRT2 の大脳基底核における機能**  
 ○八田大典<sup>1</sup>、永井大己<sup>2</sup>、堀祐真<sup>1</sup>、地内友香<sup>1</sup>、渡辺かおり<sup>1</sup>、木下晃<sup>3</sup>、  
 黒滝直弘<sup>4</sup>、小澤寛樹<sup>5</sup>、吉浦孝一郎<sup>3</sup>、城谷圭朗<sup>1,2</sup>、岩田修永<sup>1,2</sup>  
 ( <sup>1</sup>長崎大・院医歯薬・ゲノム創薬学、<sup>2</sup>長崎大学・薬・ゲノム創薬学、  
<sup>3</sup>長崎大学・原研遺伝、<sup>4</sup>香川大学・医・臨床心理学、  
<sup>5</sup>長崎大・院医歯薬・精神神経科学)
- P37 **膜融合 GTPase OPA1 によるミトコンドリア膜融合機構の解明**  
 ○伴 匡人<sup>1</sup>、石原直忠<sup>1,2</sup>  
 ( <sup>1</sup>久留米大学・分生研、<sup>2</sup>大阪大学・理・生物科学)
- P38 **Visualization of the spatial distribution of a presequence peptide in the binding site of the mitochondrial presequence receptor, Tom20, using crystal contact-free space created in protein crystals**  
 ○Xiling Han<sup>1</sup>、Atsushi Shimada<sup>1</sup>、Daisuke Kohda<sup>1</sup>  
 ( <sup>1</sup>Medical Institute of Bioregulation, Kyushu University)
- P39 **コレステロール代謝経路を標的とした高悪性度リンパ腫の治療戦略**  
 ○潘 程、藤原章雄、Horlad Hasita、中川雄伸、宮川育子、菰原義弘  
 (熊本大・院医・細胞病理)
- P40 **ビメンチンの構造変化による細胞表面上の出現機構の解明**  
 ○ファンボンジュ<sup>1</sup>、伊勢裕彦<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>九州大・工・物創、<sup>2</sup>九州大・先導研)
- P41 **NMR による抗菌ペプチド nukacin ISK-1 の溶液構造決定**  
 ○藤浪大輔<sup>1</sup>、Abdullah Al Mahin<sup>2</sup>、Khaled M Elsayed<sup>2</sup>、永尾潤一<sup>3</sup>、  
 善藤威史<sup>2</sup>、園元謙二<sup>2</sup>、神田大輔<sup>1</sup>  
 ( <sup>1</sup>九州大・生医研、<sup>2</sup>九州大・農、<sup>3</sup>福岡歯科大・歯)

- P42 **ネプリライシン発現増強化合物の構造最適化**  
 ○堀 祐真<sup>1</sup>、渡辺かおり<sup>1</sup>、地内友香<sup>1</sup>、太田遼佑<sup>2</sup>、高宮優真<sup>2</sup>、Asmaa Said Ali Yassen<sup>3</sup>、Hao Qian<sup>3</sup>、八田大典<sup>1</sup>、城谷圭朗<sup>1</sup>、田中 隆<sup>3</sup>、岩田修永<sup>1</sup>  
 (<sup>1</sup>長崎大・院医歯薬・ゲノム創薬学、<sup>2</sup>長崎大・薬・ゲノム創薬学、<sup>3</sup>長崎大・院医歯薬・天然物化学)
- P43 **ティラピア Neu4 は核に局在する新奇シアリダーゼである**  
 ○本田晃伸<sup>1</sup>、二神裕子<sup>2</sup>、小松正治<sup>1,2</sup>、塩崎一弘<sup>1,2</sup>  
 (<sup>1</sup>鹿児島大・大学院・連合農学研究科、<sup>2</sup>鹿児島大・水産・食品生命科学)
- P44 **BubR1 低発現骨格筋芽細胞は、miRNA を介してサルコペニア様形質を呈する**  
 杉村友梨、○榎野晋也、服部秀美、江藤 望  
 (宮崎大・農・応用生物学)
- P45 **基底膜タンパク質の局在決定機構の遺伝学的解析**  
 ○松尾佳苗<sup>1</sup>、伊原伸治<sup>1</sup>  
 (<sup>1</sup>有明工業高等専門学校物質工学科)
- P46 **エストロゲン受容体  $\alpha$  型を活性化するハロゲン含有新世代ビスフェノールのハロゲン結合評価**  
 岩本雅輝、柁屋宇洋、劉 暁輝、○松島綾美  
 (九州大・院理・化学)
- P47 **アーキアに機能的な MutS/MutL タンパク質は存在するか?**  
 ○峯 渉、工藤華枝、山上 健、石野良純、石野園子  
 (九州大・院農・生化)
- P48 **新規 LRR 抗体ライブラリ構築法の検討**  
 ○森田哲史<sup>1</sup>、吉永圭介<sup>2</sup>  
 (<sup>1</sup>熊本高専専攻科・生産システム、<sup>2</sup>熊本高専・生物化学システム)
- P49 **ペルオキシソーム形成因子 Pex14p の細胞周期依存的なリン酸化による機能制御**  
 ○山下昂一郎<sup>1</sup>、田村茂彦<sup>1,2</sup>、藤木幸夫<sup>3</sup>  
 (<sup>1</sup>九州大・院システム生命、<sup>2</sup>九州大・基幹教育院、<sup>3</sup>九州大・生医研)
- P50 **Identification and functional characterization of ceramide UDP-glucuronosyltransferase in *Zymomonas mobilis***  
 ○Mengbai LI<sup>1</sup>, Nozomu OKINO<sup>1</sup>, Yohei ISHIBASHI<sup>1</sup> and Makoto ITO<sup>1,2</sup>  
 (<sup>1</sup>Dept. Biosci. Biotech., Grad. Sch. Biore. Bioenvtl. Sci., Kyushu Univ.,  
<sup>2</sup>i-BAC, Grad. Sch. Biore. Bioenvtl. Sci., Kyushu Univ.)



- P51 自発活性化型核内受容体 ERR $\alpha$ はホモダイマーとして機能する  
○劉 暁輝<sup>1</sup>、中川裕之<sup>2</sup>、下東美樹<sup>2</sup>、杉山真季子<sup>1</sup>、松島綾美<sup>1</sup>、下東康幸<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>九州大・院理・化学、<sup>2</sup>福岡大・理・生物、<sup>3</sup>九州大・リスクサイエンス)
- P52 大腸菌発現系を用いた一本鎖抗体の効率的試料調製法に関する研究  
○劉 宸江<sup>1</sup>、豊田湧也<sup>1</sup>、福田夏希<sup>2</sup>、佐藤卓史<sup>2</sup>、小橋川敬博<sup>2</sup>、森岡弘志<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>熊本大学大学院薬学教育部、<sup>2</sup>熊本大学大学院生命科学研究部(薬))
- P53 *Cryptococcus neoformans* の糖脂質代謝は病原性に強く関わる  
○渡辺 昂、藤田実花、石橋洋平、沖野 望、伊東 信  
(九大・院農・生命機能)